

様式1 記載例

叙勲審査票

部 局 名 _____

部局推薦人員 _____人

順位	ふりがな	本籍	主要経歴			換算率	換算後年月数 (計)	基準年数 (換算年数) 表彰歴	
	氏名	現住所 (電話番号)	職 名	在職期間	在職年月数				
	生年月日 (年齢)	最終学歴							
備 考									
	さいたま たろう 埼玉 太郎	〇〇市〇〇町 〇丁目〇番地	基準 職 関 係	〇〇町議会議員	平 4. 2. 5～平12. 4. 1	8年 2月	3/12	その他の市の 市長 4年 (11年 7月) 平成〇.〇.〇 埼玉県知事表彰 (地方自治功労) 平成〇.〇.〇 藍綬褒章 (地方自治功績)	
		〒000-0000 〇〇市〇〇町 〇丁目〇番〇号		〇〇市議会議員 (市制施行)	平12. 4. 1～平15. 2. 5	2年10月半	5/12		1年 2月
	昭和〇〇年 〇月〇日 (〇〇歳)	(Tel.000-000-0000)		同 副 議長	12. 4. 1～ 14. 2. 3	1年10月半	5/12・ 1/2		0年 4月半
	昭和〇〇年〇月 〇〇大学 〇〇学部〇〇学科 卒業			〇〇市長 (その他の市)	15. 3. 7～ 23. 3. 6	8年 0月半	12/12		8年 0月
〇〇部推薦第〇位 (令和6年秋の候補者として〇〇部推薦第〇位) 〇〇市国調人口	生業：農業 平12年 〇〇〇〇〇〇人 17年 〇〇〇〇〇〇人 22年 〇〇〇〇〇〇人 27年 〇〇〇〇〇〇人	その他	保 護 司 〇〇市消防団〇〇 分団長 〇〇協同組合理事 同 副理事長 農 業	平 6. 4. 1～平14. 4. 30 15. 4. 1～ 20. 3. 31 15. 5. 31～ 18. 4. 24 18. 4. 25～ 23. 3. 6 昭44. 3. 27～ 現 在	8年 1月 5年 0月 2年11月半 4年11月 55年 1月半		11年 7月		

(注意事項)

- 1 主要な経歴については、もれなく記載してください(生業歴も含む)
- 2 いずれの欄もはっきりと記載してください。
- 3 氏名は戸籍抄本の字画どおりに記載し、ふりがなを付けてください。
- 4 年齢は、令和6年11月3日現在で記載してください。
- 5 本籍は戸籍抄本、現住所は住民票と照合し、漢数字・算用数字も含め誤りのないよう記載してください(郵便番号・自宅電話番号も記載してください)。
※発令日までに市町村合併が予定されている場合はその日付及び概要を記入してください。例) H18. 1. 10本庄市(本庄市、児玉町合併)
- 6 在職期間の計算は下記の要領で重複期間を除く年月数を記載してください。なお、現職については令和6年11月3日現在で記載してください。
※在職年数の始期及び終期は下記により半月単位をもって計算します。
(始期)月の15日以前に就職した者は1日に、月の16日以降に就職した者は16日にそれぞれ就職したものとみなします。
(終期)月の15日以前に離職した者は15日に、月の16日以降に離職した者は末日にそれぞれ離職したものとみなします。
- 7 表彰歴の欄には、知事表彰以上の表彰歴(褒章、大臣表彰、県知事表彰等)を記載してください。
- 8 備考欄には、部局の推薦順位及び候補者の生業を、必ず記載してください。
- 9 以前候補者として推薦したものについては、備考欄にその旨を記載してください。

様式 3

記載例 4

功 績 概 要

候補者氏名	戸田 四郎	推薦部局名	〇〇部
<p>(概 要)</p> <p>平成9年5月から平成27年10月までの約18年5月間、また、平成27年11月から令和2年5月までの約4年7月間、埼玉県〇〇協同組合の理事、組合長（平成25年4月からは(一社)埼玉県〇〇協同組合理事長）の要職にあって、組合員相互の連絡調整をはじめ、資質の向上、技術開発に尽力した。</p> <p>その他、民生・児童委員、市議会議員等として地域社会に貢献した。</p>			
<p>(功 績)</p> <p>1. 埼玉県〇〇協同組合理事（平成9.5.26～25.3.31） (一社)埼玉県〇〇協同組合理事（平成25.4.1～27.10.31） 平成8年に理事に就任し、以来約18年5月間の長きにわたり尽力した。 この間、職務に忠実に献身し、新技術の開発、組合員の研修制度の創設、連絡機関の充実等に努めた。</p> <p>(1) 〇〇方式の開発に指導的役割を果たした。これによって、従来より品質が向上し、人件費、燃料費ともに大幅に節減できた。これは、従来、1月あたり〇〇klの重油を使用していたのが、同量を生産するのに〇〇klですむようになったこと、また、〇年〇月の見本市において、〇位に入賞したこと等によっても証明されている。</p> <p>(2) 組合員の資質の向上のために、研修制度を創設した。氏は中心となって、月1回、県内各地区で講演会、研究発表会等を開き、各地区の支部の指導をはじめ、組合員間の研究熱を高めた。これによって、当産業においては、全国的にみても、特許獲得数が多い。</p>			

<p>(3) 組合員相互の連絡調整のために、各支部の充実及び、組合員の福利の増進に寄与した。各支部の活動を活発にさせるために、最新の情報を伝達し、また、各支部から情報を吸収するために、〇〇情報センターを新設した。これによって、組合員の自覚が芽ばえ、団結が一層強くなった。</p>
<p>2. (一社)埼玉県〇〇協同組合理事長（平成27.11.1～令和2.5.20） 従来の活躍が認められて、平成27年11月に組合長に就任した。以来令和2年5月までの約4年7月間にわたり、理事時代の経験を生かし、販売ルートの開拓、他産業との協調に努め、組合長として、幅広く活動している。特に、輸出に強い関心を持ち、飛躍的増大を果たした。</p>
<p>3. 民生・児童委員（昭和62.12.1～平成17.11.30） 温厚な人柄が慕われ、18年間、地域の福祉に尽力した。地域住民の良き相談相手となり、独居の高齢者を支える〇〇活動に積極的に取り組むなど、地域社会の福祉向上に大きく貢献した。</p>
<p>4. 〇〇市社会福祉協議会理事（平成7.4.1～17.3.31） 10年間にわたり、地域社会の福祉の増進に寄与した。この間、町ぐるみの慈善バザーやコンサート等を開催し、〇年には、〇〇基金を設立し、恵まれない子供たちのために尽力した。</p>
<p>5. 〇〇市議会議員（平成8.4.30～16.4.29） 2期8年間にわたり、市議会議員として、地元の発展に貢献した。 特に、学校校舎の建築に尽力し、その設備の充実是他地区の模範となった。</p>